



# うばやま

No.5

令和7年5月27日  
校長 蜂須賀 久幸

<https://kashiwai-school.ed.jp/ichikawa-sho>



## 失敗は挑戦した証拠！レッツ・ポジティブ！

粘着付箋紙『ポスト・イット』発明のスペンサー・シルバー氏が亡くなったのは、4年前の5月のこと。この『ポスト・イット』は、失敗から生まれた世界的大ヒット商品であるといいますが、一体どういうことでしょうか。

実は、アメリカの3M社で働いていたスペンサー氏が「絶対に剥がれない強力な接着剤」を作ろうとしていたのに、開発過程でなぜか真逆の剥がれやすい接着剤を作ってしまったという失敗から始まったのです。「きっと何かに使えるのではないか」と聖歌隊の一員だった同僚に相談。讃美歌に挟んであったしおりが落ちやすいことから、よくつくけど剥がしやすい付箋紙にたどり着いたといひます。試行錯誤を重ねて完成したポスト・イットは瞬く間に大ヒット商品になったそうです。

なぜか無性に食べたくなるのがラーメン。そして、飲みたくなるのが炭酸飲料。その代表格の『コカ・コーラ』、実は薬として売り出す予定だったものであることを知りました。当時のアメリカは禁酒法が制定されており、麻薬中毒者が続出していた時代です。お酒の代わりに、薬にもなる飲み物を開発する必要があったようです。科学者のジョン氏は、当時流行っていたコカ（現在は麻薬に指定されているが、当時は嗜好品）の飲み物から新しい飲み物を作ろうと考えていました。ある時、水を加えるつもりが炭酸水を間違えて入れてしまいました。ただ、これが滅法おいしかったのだそうです。ジョン氏は、アルコールの代替飲料かつ麻薬中毒者の薬開発という目的から逸れて、安価で売り出したら大好評。これが嗜好品『コカ・コーラ』の誕生だったのです。



懐かしい瓶のコーラ

このほかにも、大ヒットした物の中には、元は失敗作だったといったものが少なくありません。要は“失敗をただの失敗のまま終わらせない”強い意志や柔軟な発想、ポジティブな思考が大事ということで、これは大人にも子供にも当てはまります。単に失敗することをよいとするわけではありませんが、挑戦（行動）した証拠であることは間違いありません。子供たちにもこの先、多くの失敗や挫折が立ちふさがるでしょう。ただ、行動を起こすことを恐れないためにも、今から失敗の大切さや価値も教えていきたいと考えます。



1	日	第五中BCC「森とあそぼう」(柏井キャンプ場)	12	木	ティンカーベル読み聞かせ	丸数字は学年を表します
2	月	教育実習2名(～6/27)	13	金	柏井小開校記念日(休みではありません)	
3	火	眼科検診②④⑥ 学力テスト③⑤	15	日	千葉県民の日	
4	水	委員会活動 学力テスト②④⑥	17	火	プール開き 尿検査2次	
5	木	朝会 内科検診①②③④⑤ 体力テスト①③⑤⑥	18	水	学習参観・保護者会	
6	金	体力テスト②④ プール清掃	19	木	学習参観・保護者会(2-2のみ)	
11	水	定例研(下校 13:15)	26	木	林間学校⑤(～27日) 着衣泳⑥	

令和7年度の学校経営方針は、下図のとおりです。「自分のことを好き！」と胸を張って言える子供たち、自信あるいは自己肯定感に満ちた子供たちの笑顔があふれる学校を目指します。  
今週末の学校運営協議会でも示すとともに、学校評価等で随時振り返りを図っていきます。



《学校教育目標》

**やさしく たくましく いきいきと**

～ 協働し 未来を拓く子の育成 ～



**めざす子どもの姿**

**やさしく**

**豊かな心を持ち  
友達と協働できる子**

**たくましく**

**チャレンジ精神を持ち  
最後までがんばる子**

**いきいきと**

**自ら考え、めあてを持ち  
主体的に学ぶ子**

**経 営 の 重 点**

- 特別支援教育の充実
- 異学年交流の推進
- 地域との共育の推進
- 道徳教育の推進と児童理解

- 挑戦し、達成感を  
味わえる場の設定と支援
- ヘルシースクールの推進
- 基本的生活習慣の確立

- 子供が生き生きと学ぶ授業の実践  
⇒ 考えを引き出す・子供と創る
- 基本的学習習慣の確立と学力向上
- 校内研究や研修の充実

## 信頼される学校づくりの推進

- ホームページや各種便り、メールなどによる学校の様子積極的な発信
- 保護者・児童との教育相談活動の充実
- 地域施設・地域人材・多様なゲストティーチャー・関係機関・地域行事との充実した連携
- 地域学校協働本部との連携及び学校運営協議会の充実

## めざす学校像

- 安全・安心で、学ぶ環境が整った学校
- 子ども一人一人の個性とよさを大切に、尊重する学校
- 教職員が協働して学校づくりに参画して、やりがいを感じる学校
- 保護者・地域住民・職員が一体となって、ふるさとを愛する子どもを育む学校

## めざす教職員像

- 学び続けようとする向上心を持ち、信頼と期待に応えられる教職員
- 子どもと喜び、子どもに寄り添い、共感することのできる、人間性豊かな教職員
- 子どもと共に学び、子供や保護者と共に創り上げ、失敗を糧とできる教職員
- 組織の一員として協働し、互いに認め合い高めあう教職員